

じんけん瓦版 第31号

発行：日本聖公会東京教区 人権委員会

発行日：2008年11月10日

記念礼拝メッセージ

ふれいす東京

相談員 牧原信也

HIV/AIDS という病気がわかってから約25年が経ちました。

ご存知の方も多いと思いますが、HIV/AIDSは1996年以前は死に至る病気でしたが、現在では医療技術の向上で、薬が入手可能な国では、治療を続ければ、これまでとかわらず生活ができ、寿命を全うできる、とまでいわれるようになってきています。

しかし、一方で感染がわかった人は、病気に対する理解が社会の中で進まないために、自分のことを周囲の誰かに伝えることがなかなか難し

いと訴える人も多くいます。また、話すと自分から離れて行くのではないか、自分が一人ぼっちになってしまうのではないか、そんな不安を、多くのHIVに感染した人たちが感じています。

日本では現在約1万6千人の人がHIVとともに生きています。

HIVを持っている人も、HIVを持っていない人も、まだ気付いていない人も、私たちは同じコミュニティで、すでにともに生きています。

電車の隣の席で、映画館の隣の席で、スーパーのレジの

(2頁へ続く)

(1頁より続く)

列で、礼拝の隣の席で、日々の生活のどこかで隣にいてもおかしくありません。もしかすると実際にいたけど自分が気づいてなかった、気づけてなかっただけかもしれせん。

ふれいす東京は、HIVとともに生きる人が「自分らしく生きる」ことのできるコミュニティを、地域に根ざした活動を通して創り出すことを目指し、設立されました。HIVがわかった方に電話や対面による相談やボランティアの派遣、感染を不安に感じている人への電話相談など、地域での地道な活動を続けています。

HIVとともに生きる人にとって「生きやすい」コミュニティ、それはきっとHIVを持っている人だけでなく、誰にとっても安心して生活できるコミュニティになるのではないのでしょうか。自分のことを話しても、等身大で理解してもらえるコミュニティ、これは誰しも望むものではないのでしょうか。

今日はひとりでも多くの方が、HIVは他人ごとではなく、自分もHIVとともに生きているひとり、ということに気づき、それをみんなで共有できる機会になればと思います。

みんなで作る バリアフリーの

クリスマスパーティ

と き 2008年12月13日(土)
13時20分～16時

ところ 牛込聖公会聖バルナバ教会
(新宿区矢来町65番地)

参加費 500円

定員 50名

〆切 12月6日(土)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

私たちはみんな、いろいろな個性をもって生きています。
このパーティは、軽食づくりやクリスマスの飾り付けを
いっしょにしながら、お互いの個性をより深く知ること
ができるようにと考えています。
作ったり、食べたり、遊んだり、歌ったり、それぞれの
ペースでゆったりとしたひとときを楽しんでみませんか。

お問い合わせ・お申し込みは、

牛込聖バルナバ教会 でんわ 03-3268-8067

FAX 03-5228-3198

日本聖公会 東京教区 外濠教会グループ協議会 共催

日本聖公会 東京教区 「障がい者」関連活動連絡会

後援 日本聖公会 東京教区 信仰と生活委員会

(文責 打田茉莉)